

怪物<sub>vs</sub>  
團長少女<sub>2</sub>





た…体育祭っていう  
体を動かす  
祭があつてな

そこでみんなを  
鼓舞する  
盛り上げ役さ



居ても  
居なくても  
いい存在だな





!!!

アッ

ギ

ナギ...

グニッ

アッ

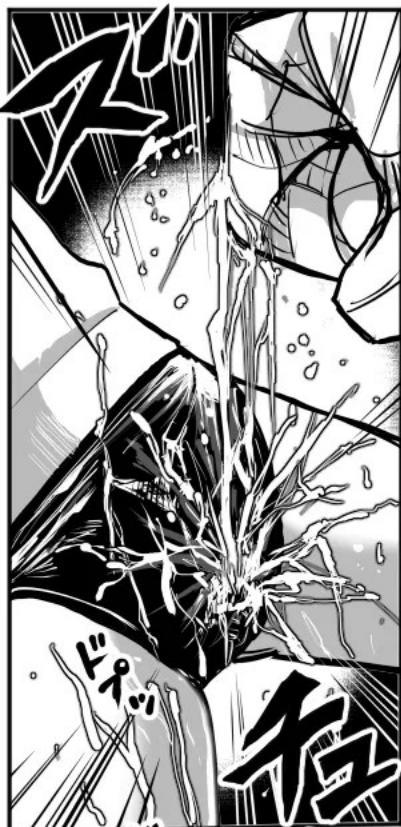
アッ

は……  
半端な覚悟……  
ならぬ

だが  
俺たち応援団が  
修練を積んで  
披露する事で……

見る人に情熱を……  
でんぱ  
伝播させられ……

るあ  
ア  
ア  
!!!



感情が  
伝染すると？



物理的に  
繋がって  
いないのにか

宇宙・・・を  
旅して  
来たんだろ？

ぐっ

ズン  
ズン

そういう・・・  
生命体は  
他にもいなかったのか？



あぐんっ…  
!

居れんかも…



前回生命体のいる  
星にいたのは  
一万年前だ  
忘れたな

そもそも  
惑星間の移動が  
千年単位だ

…途方が  
無さすぎて  
同情するぜ



お前・・・は・・・  
行く星々で  
現地の人々に・・・  
こんな事  
やってんのか？

誤解  
しないで欲しい  
これは特別だ



君のような存在は  
自分も初めてだ  
・・・と思う

これまで自分が  
降りた星は  
必ず滅んできたが

自分が暴力で  
征服した訳では無い



自分が世間に  
姿を現しても

ただちに  
この星が  
壊れる訳  
じゃない

数年…  
数十年…

人間達の出方によるが  
はるかな期間を  
共存できる  
事もあるだろう

オッ…

!!  
!!  
!!

キッ

ホキッ

ただし最後には  
必ず終わりが来る

あう

潰れる……

がっ!

どこかの国が自分の力を  
独占しようとして……  
戦争が起きる



君にそれを  
止める術はない



うあ!

はう

ポトポト

んんんん  
おんんん!



誰も知らない  
山奥でこうして  
体液を撒き散らし  
死ぬ君にはな

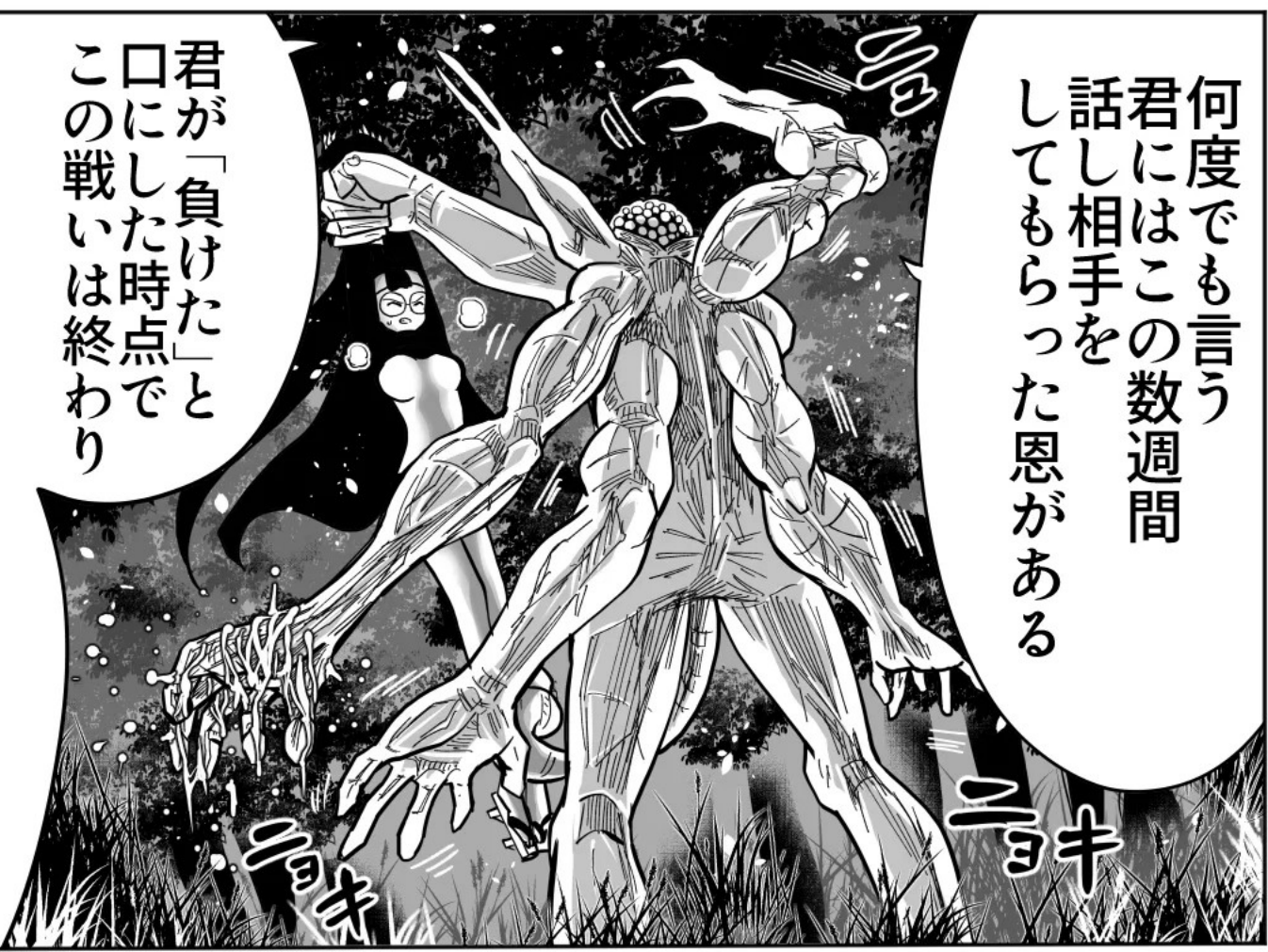


何度でも言う  
君にはこの数週間  
話し相手を  
してもらった恩がある

君が「負けた」と  
口にした時点で  
この戦いは終わり

即時解放する

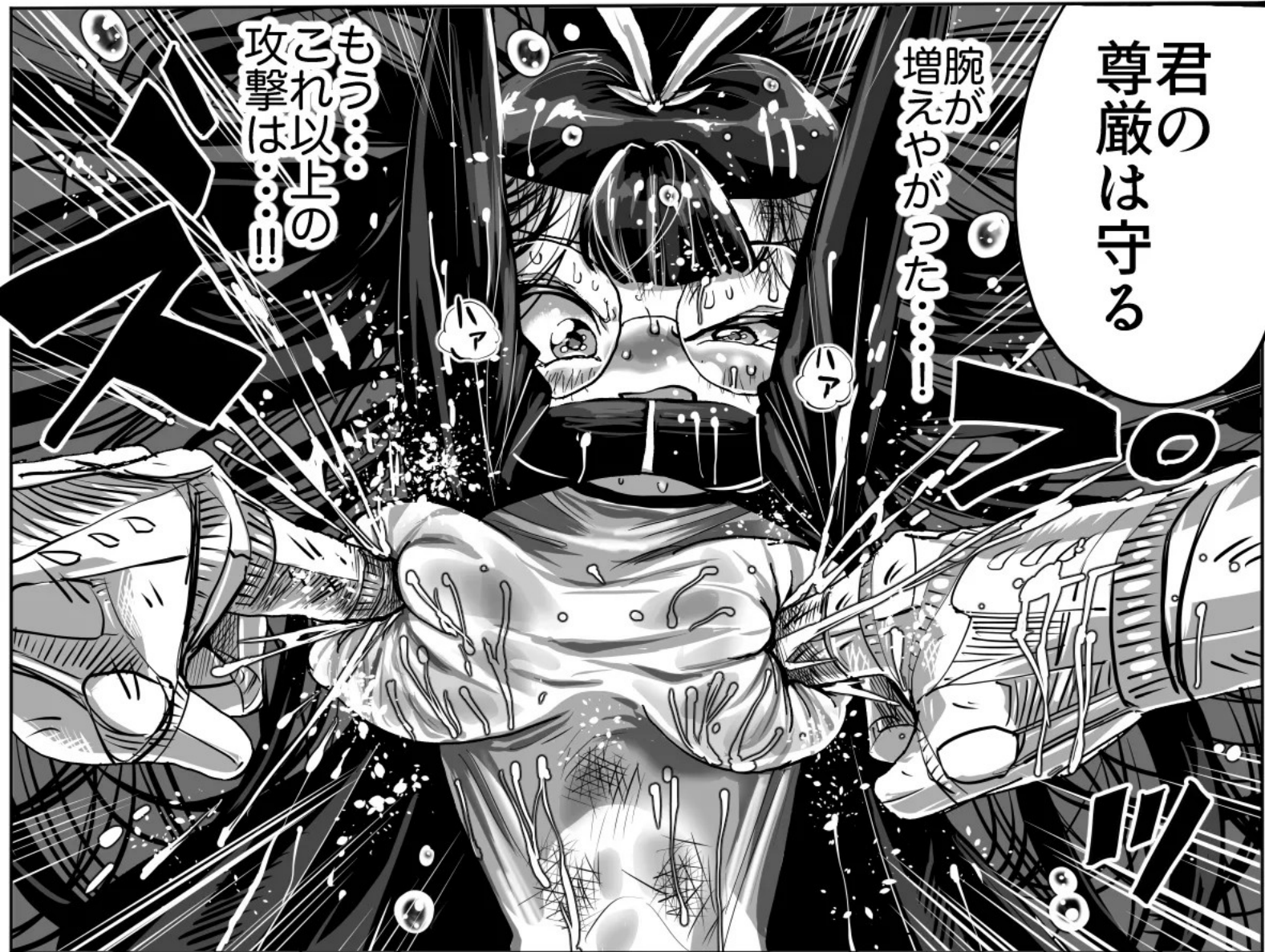
君が降参した事は  
口外しない



君の  
尊厳は守る

腕が  
増えやがった……!!

もう……  
これ以上の  
攻撃は……!!



その後は  
自分に関わらず  
達者に暮らせ

う  
!!

だがこのままだと  
殺さない程度に  
いたぶり続け  
なければならぬ

この様な  
苦しみは無駄だ

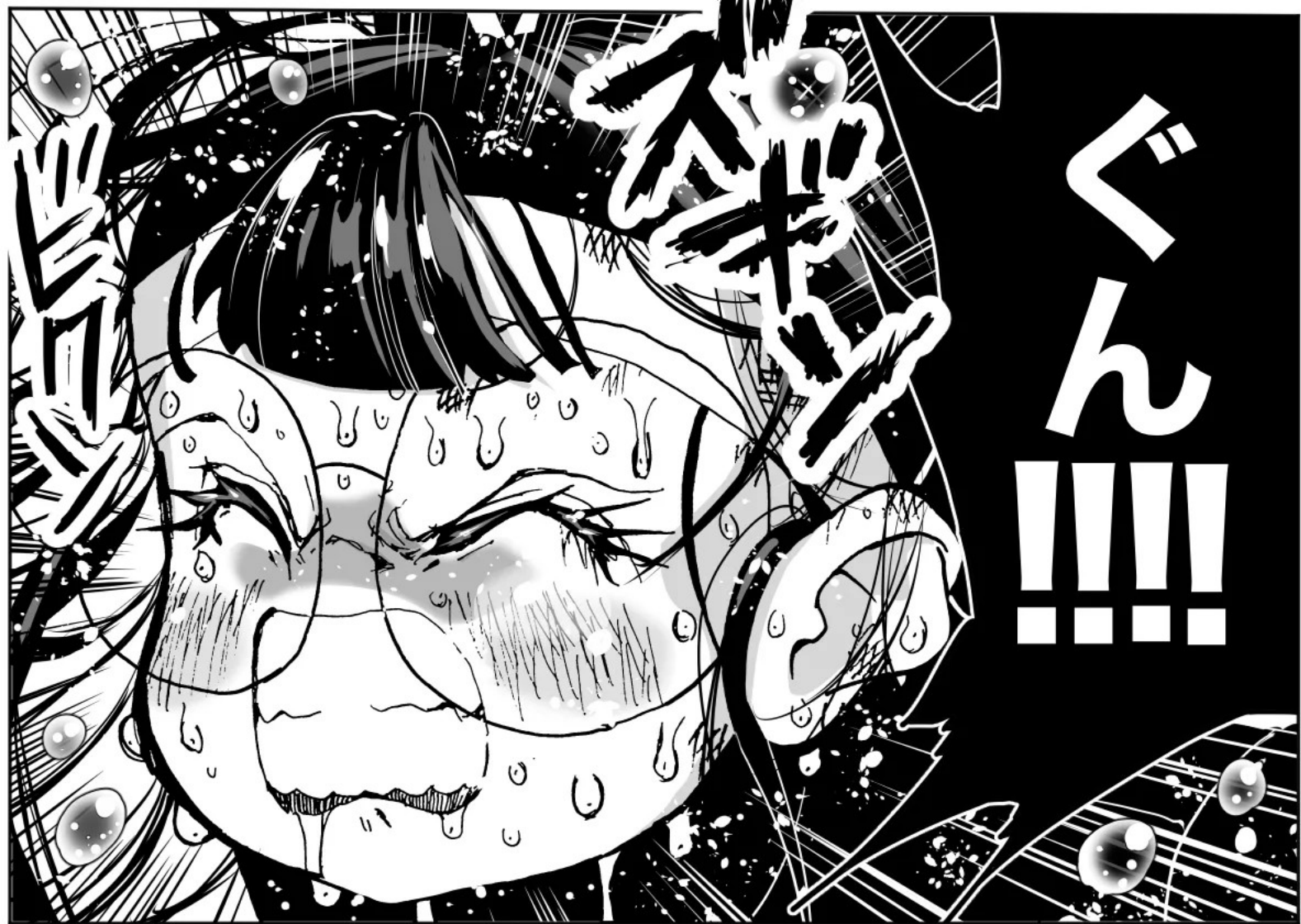
君もそう  
思っ  
て来  
てい  
るだ  
らう  
？

！！

！！









い...  
言つとくがな...

俺なんて  
この地球じゃ  
弱い方  
だからな...?

がッ...

も...  
もつと強い連中が  
山ほど...いる

...だから...  
諦めて他の  
星に行け...!!

ドドドド...



急に子供っぽい強がりをするんじゃないかどうした？

これ以上は無理と悟ったか

ズ

エエ...

グ

尻への攻撃が弱点のようだな

ブツブツ...!!

ア...



ひう

ヒュー

ポポ

ポポ

アッ

ドッ

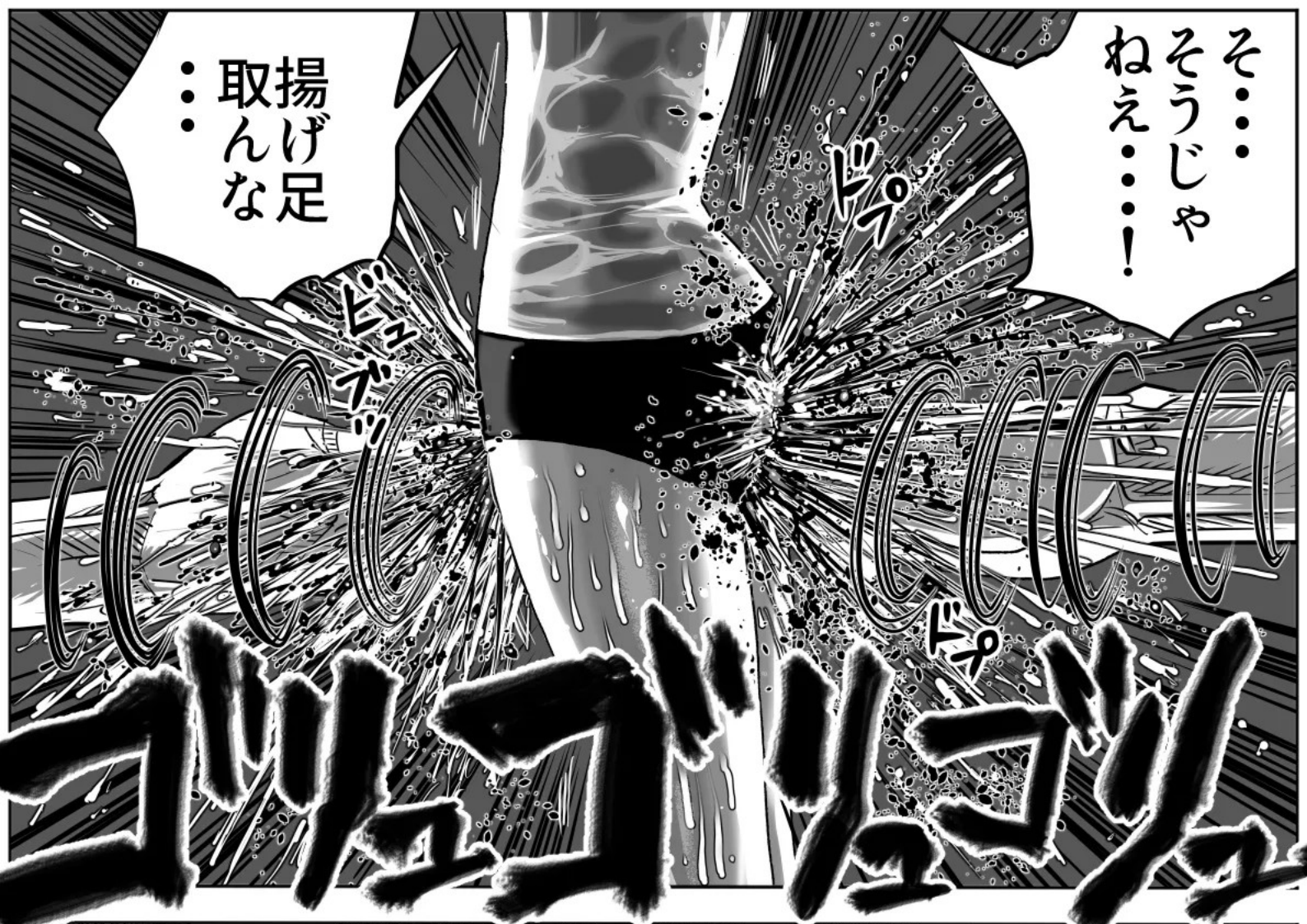
ドッ

ガッ

他の星に行けと  
 言ったが...  
 その民が死ぬのは  
 平気なのか？

そ...  
そうじゃ  
ねえ...!

揚げ足  
取んな



前後の穴は潰した  
無惨なものだ

君が  
垂れ流した汁で  
池が作れそうだぞ





